



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT
Y'S MEN'S CLUB OF NARA
 C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERD SEPT. 14TH. 1950

ホームページ：<http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長 主題：ともに、光の中を歩もう

Let us walk in the Light-together

アジア会長 主題：ワイズ運動を尊重しよう Respect Y's Movement

西日本区理事 主題：心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ

Healthy mind & healthy body make healthy club

阪和部長 主題：新しい友を作ろう！そして今ある友を大切に

会長：早川 哲治

副会長：内田・高井

書記：佐々木・(副)前田

会計：平井 洋三

直前会長：前田 敏宏

次期会長：高井 亮吉

特別会長：林 成子

11月
2017年

ブリテン
編集委員

佐藤 由佳
内田 勝久
辻野 啓一
林 佑幸
平井 洋三

クラブ会長標語：「奈良ワイズは、和合一つで」

11月例会

とき 2017年11月13日(月) 19:00~21:00

ところ あきしの保育園ホール

<プログラム> 司会 平井 洋三

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 食前感謝

7. 卓話

講師：川添 登巳雄 様

テーマ：「相続とお金について」

8. 誕生日のお祝い

9. YMCA ニュース

10. インフォメーション

11. YMCA の歌

12. 閉会点鐘 会長



[月間強調テーマ]

Public Relations Wellness

[今月の聖句]

「誉れ高き人々をたたえよう、我々の歴代の先祖たちを。
 主は大なる栄光を現し、世の初めからその威光を示された。
 先祖たちのある者は国々を支配し、武勇によって名を輝かせた。
 ある者は思慮に富んだ勧めを与え、預言の言葉を語った。
 ある者は英断と法規の知識をもって民を導き、知恵ある言葉で
 人々を教えた。
 またある者は楽の音を究め、詩歌を書き記した。」

旧約聖書続編・シラ書44章1節~5節

日本聖公会 奈良基督教会 司祭 井田 泉

わたしたちがこうして存在し、生き、活動しているのは、
 わたしたちの先祖、先輩のおかげです。

わたしたちの先祖、先輩がいなければ、わたしたちの存在
 も働きもありませんでした。伝えられた良き精神、良き信仰、
 良き働きを感謝して継承し、時代にふさわしく発展させてい
 きたいものです。

2017年10月度クラブ統計

在籍会員	23名	メネット7名	
例会出席	13名 (含. 広義会員 1名)	コメント0名	<u>ニコニコ献金</u>
		ゲスト 1名	10月度: 11,248円
出席率	85.7%	ビジター 2名	累計: 1,547,005円



例会 11月 13日(月) 19:00~21:00 あきしの保育園

役員会 11月 27日(月) 19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕



会長通信



会長 早川 哲治

やっと涼しくなりました。昨今健康ブームといわれ久しいですが、現代人は、さまざまなストレスにさらされていますね。私もしかりです。仕事の事、人間関係のこと、悩みや心配事、生活環境…etc。ストレスにつながるものを数え上げればキリがないほどです。そのような中で、日々心穏やかに笑顔で過ごすというのは、難しいのかもしれない。

特に心（メンタル）の健康については、心が「目に見えないものではない」ことから、周囲の人ばかりでなく、本人にさえ自分の心の状態が分からないことが多くあると思います。原因と状態がハッキリ分からないことから、さらにストレスとなり、健康であったはずの身体に異変が起こるといった悪循環に陥ります。

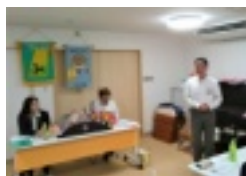
このような「心と体の健康」についてさまざま研究がされていて、『楽観的なグループの免疫細胞は数も多く、活発であったのに対して、悲観的なグループは免疫細胞の数が著しく低下し、その活動性も低くなり、感染症にかかりやすい状態になっていた』といった報告もあるようです。

「心身共に健康でこそ人生を楽しめる」仕事でのストレスがほぼなく、プライベートでも活発に自分自身の充実感を得るための活動ができている状態なら、どんなに人生が楽しく充実したものになるか。「幸せだ」と感じられるベースにあるもの、それが「健康」だと思います。不健康で寝ている状態では、幸せを十分に感じる事が出来ないのではないですか。

人生を楽しんでいる人たちを見ていると、共通しているのは「健康である」ということです。もちろん、ここで言う「健康」とは、「身体が元気で、精神的（心）は明るく落ち着いてゆとりがあり、経済的にも満たされている」ということです。

心身共に健康であれば、経済的な安心も手に入れることができます。ですから、まずは心身の健康を意識し、予防することが何よりも大切でしょう。特に目に見えない心は、普段から意識していないと、なかなか自分の心の状態に敏感になれません。

身体が元気でどこにも不調がない状態のみを指すと思われがちですが、これらの3つの状態が揃ってこそ、本当の意味で「健康である」と、言えるのかもしれない。



<司会：佐藤由佳子様 卓話：林聖子様、

ゲスト：今井様、入江様>

「メネット会」

松田 重子

今月のメネット会はYMCAのチャプルで開かれた。メネット会長さんの報告やメネット事業の取り組みの相談をしながら、あきしの保育園に毎年贈っているクリスマスプレゼント作りに、今年は開くとフェルト地で作ったモミの木にビーズをあしらったのに言葉を添えたクリスマスカードと、色とりどりのフェルト地で作るトマト、人参、大根、ミカン、バナナ、ハンバーグ等10種類の野菜や果物のおもちゃを作る作業は、園児さんたちのうれしそうな笑顔を思い浮かべると手元が弾んで作業が進みます。あきしの保育園の開所のお祝いに送ったフェルトのおもちゃが好評だったようで、いろんな所がほつれたり、やぶれたり、汚れていたりしているので前回と同じものを作って送ることにしています。

また、気心がわかるメネットさん達との会話は、毎月の例会とは違い、雑談や近況、情報交換ができるのも楽しみでもあります。日頃の生活と環境が違うので心のオアシスにもなり、良い一日でした。

メネット会からのお知らせ

<今年度もクリスマスプレゼントが完成>

YMCAあきしの保育園にプレゼントするメネットメンバー手作りのクリスマスプレゼントが完成しました。

フェルトの野菜や果物です。佐藤特別メネット（96才）のバナナとミカンは皮がむけて本当に手の込んだ作品です。また、奈良YMCAの障がい児・者クラス（約80名）とジョイフルクリスマス等合計130枚のクリスマスカードが完成しました。今年はフェルトのツリーにビーズとシールで飾り付けをし、サンタの折り紙を貼りつけて、とても豪華なカードとなりました。

<今期メネット事業特別講演会>

平成30年2月14日（水）13時から16時 奈良県文化会館小ホールで開催となりました。

10月役員会にて奈良ライズクラブメネット会主催で行うが、様々な場面でメンメンバーの協力がいただけることになり、早速メンメンバーにパネラー依頼書や後援名義使用許可申請の書類を揃えて頂く等、協力を頂きながら準備を進めていきます。

<メネットファンドにご協力を！！>

メネット事業特別講演会（無料）開催費用を捻出するため、例会やメネット会でファンドを行います。10月例会では寄贈ビールを買っていただきご協力ありがとうございました。11月例会でも行いますので皆様のご協力、よろしくお願いいたします。



山口 ルミ

濱田 勉

2017年8月19日(土)に奈良YMCA創立55周年の記念として奈良の地で「I PRAY」のミュージカルが公演されました。

「I PRAY」は原爆が投下された広島から平和を願う祈りを込めた創作ミュージカルです。

原爆が投下される前の広島と投下された後の広島の様子を広島の劇団の子供達と少数の大人の方が演じてくださいました。原爆が投下される前の平和な何気ない日常一。夏休みを楽しく遊ぶ子供たち。今の日本の私達には、どこにでもあるいつもの風景が広がっています。

でも一。そこに原爆が投下されました。大きな音と光が一面に響きました。一瞬の出来事です。その後ですべてが変わります。あの明るくて生き生きと活気に満ちていた場面が真っ黒になり、何も見えなくなりました。

その次に見えてきたものは、傷ついた呻き、叫び、ぼろぼろになった服、動かない人、恐怖にうちのめされた絶望の世界です。

—— それでも。どん底の地獄のようなその場所から、人々は、子供たちは、希望を持ちながら立ち上がって郁のです。近くにあっても、気付かない普通のあたりまえのことがこんなに大切に一番大事なことである。と。

あなたに会える、一緒に笑う、誰かを思う、そのことのおかげがえのない愛と日々を見つめて、笑顔でともに明るい未来を創って行こう。と。

平和を願い、大切なものを見失わないように力を合わせて力を合わせて、力強く生きようとする人々の意思を見事に演じ歌いあげて下さいました。その中で自分たちの平和の祈りとともに「死んでいった人たちの祈りが聞こえた・・・」との言葉を一人の子供が言ってくれたのです。

私はその場面あたりから涙が止まらなくなりました。もう3、4年前になるのでしょうか。広島平和記念資料館を訪れたことがあります。そこに展示されているいろいろな品物、ぼろぼろになって切り裂かれた幼児のジャンパースカート、変形したお弁当箱、真っ黒でカチカチになったご飯、何の手当ても受けられず、苦しみながら亡くなった方々の様子がつづられた記事、原爆にあわれた多くの方の体験談のビデオなどを見て回りました。長い間その中にいると気持ちが重くなり、息が苦しくなってきました。

何とも言えない閉塞感でその資料館を出て、外の公園をゆっくり歩いていると、少しほっとした気持ちになりました。聖霊碑のある後ろの池がちょうど夕刻できらめきながら満ちていました。ポーっとしてそこに佇んでいると、私のすぐ近くで一羽の鳩がおいしそうにその水を飲んでいたので。その光景になぜか衝撃を受けたのです。↑

少しオーバーな表現のタイトルをつけてしまいましたが、ここ何か月か仕事でバタバタと「目まぐるしい日々」を過ごしています。

その為なのか、プライベートやワイズ関係においてもやらなくてはならない事がありすぎて、ついつい「明日にやろう」的な、結局は何ひとつ解決していない現実、反省している今日この頃です。性格も大きな要因ですね(汗)

さて、現在私は、西日本区のヒストリアンと財務問題等検討特別委員長という役割を担っています。財務問題等検討特別委員会についてはきっちりと課題を整理して委員の皆さんとともに役割を果たしたいと思います。

奈良クラブについては、是非一泊の研修会的な集まりを来年の4月か5月頃に行う提案を行いたいと考えています。皆さん是非ご意見のお声掛けをください。お待ちしております。



↓ 水を求めて川辺で亡くなった人が語りかけてくださったように感じたからです。「わたしたちは、今、この水を飲んでます。・・・だからもう心配しなくても大丈夫ですよ・・・」と。

この水は亡くなった方の魂の水なのでしょうか。思わず涙かこぼれました。胸が熱くなりました。今の穏やかな日本の平和を喜んで下さっていると感じたのです。このきれいな水を汚してはいけない。今の平和を壊してはいけないと強く思いました。

資料館の中と、外の平和公園のあまりにも違う世界の有り様が私にこのように思わせたのかも知れません。

つい最近、核兵器廃絶国際キャンペーン「I CAN」がノーベル平和賞を受賞されました。広島、長崎の核廃絶運動に携ってこられた人々にどれ程の希望が与えられたことでしょうか。その思いを私たちも共有して行きたいと思います。

核の問題は難しく、課題は山積しています。日本は核兵器禁止条約に批准していません。でも、私たちは足元から平和を、まず私達一人一人の思いの方向や心の有り方を見つめることから始めることが大切ではないでしょうか。無念な思いで亡くなった方が身を持って教えて下さった平和の意味を深くしっかりと受けとめ、又、実現して行くことが、私たち生きている者の責務だと思いません。

演じて下さった皆様、ほんとうにありがとうございます。会場は、皆が一つの思いになり、平和の祈りと感動に満ちていたと感じています。

10月例会報告

佐藤 由佳

10月例会は、大阪なかのしまクラブ今井ウイメン、大阪泉北クラブ人見ウイメン、卓話者林聖子様をお迎えしました。

卓話テーマは「子供を取り巻く環境」。林様からは社会福祉士の方向からお話をいただきました。「私達に出来ることは、地域の子供たちに関心を持つこと。今の親世代は核家族化や共働き家庭に育った世代で、子育てのロールモデルがない。ネット情報で混乱してしまい、孤独化、虐待、うつにつながる場合がある。親が困っているということはその後ろにいる子供も困っている。子供の「不適格行動」：嘘をつく、引きこもり、いじめ、不登校、非行など、そこには、親に認められたい、愛されたい気持ちがある。私達は、親の余裕を確保するための支援をし、親が見えない、聞こえない子供の姿や声を親に伝える存在になろう。子供がうまく説明が出来ないことを私達大人が気付くこと。子供と子供を取り巻く環境の不具合を見つめ、その環境と子供の相互関係を改善するために、近所のおっちゃん、おばちゃんになって挨拶をしよう！ちょっとした変化に気付いたら、声掛け、話を聞いて、状況に応じた支援をしよう！！」

【卓話者プロフィール】

テーマ：「相続とお金について」

講師：川添 登巳雄 様 52歳
福岡県出身 大阪市在住

プルデンシャル生命保険勤務。ファイナンシャルプランナー。

相続・高齢者問題の専門家団体シニアライフSOSに参加。現在副代表。

行政や企業の高齢者向けセミナーや相続対策提案を行っている。

現在は、結婚17年目に出来た2歳の娘を風呂に入れるのが一番の楽しみ。

10月役員会報告

※審議事項

- ・12/10(日)ジョイフルXmasは、司会：村上様、実行委員長：高井ウイメン、食事：内田ウイメン、ケーキ：杉浦メネット、フルーツ：林夏代メネット。劇：「水戸黄門」
- ・他クラブの方が、当クラブ例会に参加して頂けるときの参加希望を、五日前位にご連絡いただけるよう、各クラブ会長に、会長が連絡する。
- ・阪和部 部則見直しは、会長に一任する。
- ・メネット事業は、協力し合っていきましょう。

※協議事項

- ・11月例会 11/13(月) あきしの保育園 19時～21時
司会 平井メン
卓話 「相続とお金について」 川添 登巳雄 様
プルデンシャル生命・ファイナンシャルプランナー
- ・12月例会 12/10(日) 奈良YMCA 17時～17時30分
司会 太村ウイメン
- ・平成30年1月例会 1/8(月・祝) 近鉄奈良「百楽」
18時～20時 新年例会 司会 高田ウイメン「男性5000円、女性4000円予定」

※報告事項

<今後のスケジュール>

- ・11/11(土)・12(日) 名古屋東海クラブ・御殿場クラブDBC交流
- ・11/11(日) 13時～14時30分 南YMCA
「東さんを偲んで礼拝と思い出を語る会」
- ・11/12(日) 国際協力募金

11月 誕生日記念

HAPPY BIRTHDAY



2日 前田 敏宏

6日 三枝 ひろみ

13日 宍戸 秀子



YMCAだより 11月号

連絡主事 村上 一志



10月22日(日)は第6回奈良YMCAインターナショナルチャリティーラン2017の予定でしたが、超大型台風21号の影響でやむをえなく中止の判断をいたしました。

皆様には、当日開催にむけて準備等、ご協力いただき本当に感謝です。大会は中止になりましたが、奈良YMCAでは今後も障がいのある子どもたちのプログラム支援の輪を広げるため継続して取り組んで参りますので引き続きご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、11月1日からYMCAでは、国際協力募金キャンペーンが始まります。今年林佑幸様に実行委員長に就任頂き、11月12日には街頭募金を実施いたします。国内外の紛争や自然災害で困難の中におられる方々への支援を目的に行いますので、よろしくお願ひ申し上げます。



「第6回奈良YMCAチャリティーラン2017」

11月の行事予定

日	曜日	行事内容
1	水	大阪長野クラブ例会
4	土	和歌山紀の川クラブ例会
7	火	大阪サウスクラブ例会
9	木	大阪堺クラブ例会
11	土	御殿場・名古屋東海・奈良3クラブ
12	日	DBC合同例会
13	月	奈良クラブ例会
16	木	和歌山クラブ・大阪河内クラブ例会
23	木	大阪泉北クラブ例会
27	月	奈良クラブ役員会